LEBO木製ドア 施工説明書

スライディングドア（アウトセット）用

この度はドイツLEBO木製ドアをご購入頂き、誠にありがとうございます。
施工を行う前に必ずこの説明書をお読み頂き、正しく施工してください。
施工後も大切に保管してください。

＜ご注意＞
・施工前に、部材・部品の有無、傷の有無をご確認ください。
・納入後の傷に対しての責任は、当社では負いかねます。
・部材を保管する際には、直射日光、湿気をさけてください。

MN-LEBO-SO03

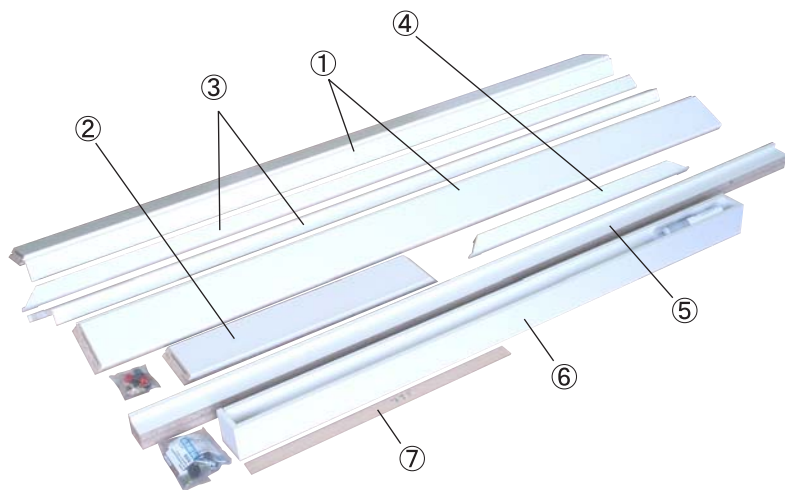
ドア施工手順

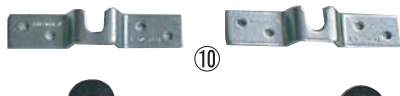
●引き戸の施工は、以下の手順を参考に行うと作業がスムーズに行えます。

●施工には下記の工具が必要となります。お客様にてご用意ください。

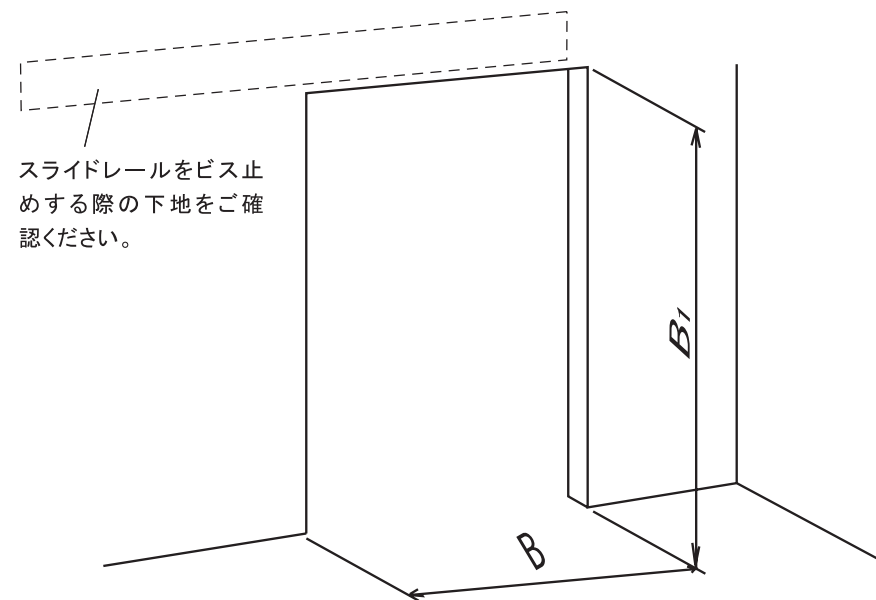
・木工用ボンド
・プラスドライバー
・マイナスドライバー
・ハンマー
・6mm、13mm スパナ
・木ビス、クギ、他

手順 1 パーツリストの確認

◆部材・部品の数量及び傷の有無を確認してください。

① ドア枠 x2
② 鴨居 x1
③ 見切(ケーシング)(大) x2
④ 見切(ケーシング)(小) x1
⑤ 戸当り x1
⑥ カバー付スライドレール x1
⑦ リブ x1

⑧ スライドローラー x2セット
⑩ ドアブラケット x2
⑨ ストッパー x2セット
⑪ スライドガイド x1

(!) 開梱時のカッター等の使用には、 中の製品にキズを付けない様十分ご注意ください。

手順 2 取付け壁面開口部寸法の確認

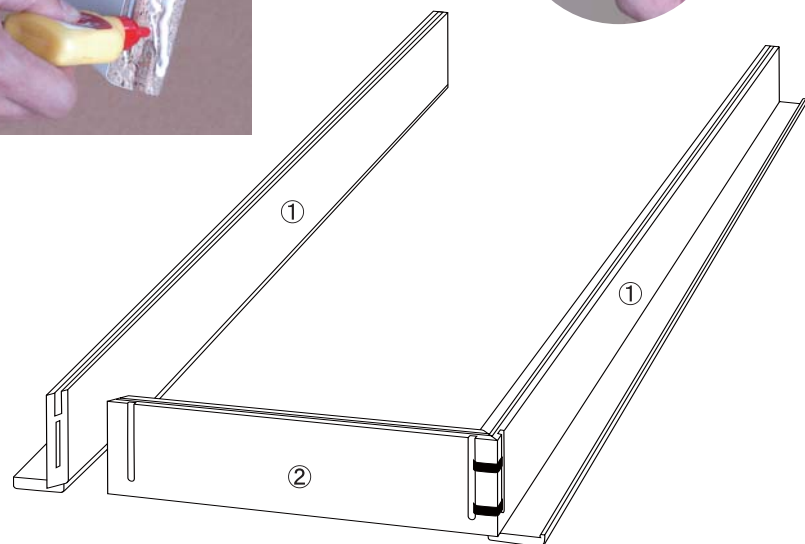
●取付け壁面開口部の寸法をご確認ください。

使用する工具及び発砲接着剤
木工用ボンド、マイナスドライバー、ハンマー、発砲接着剤(別売)、木ビス(72mm、65mm)

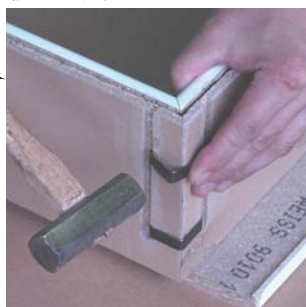
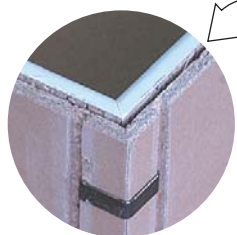
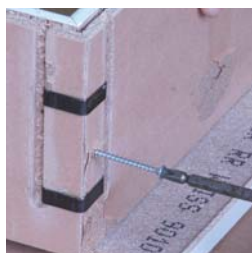
ドア寸法	壁面開口部寸法(B x B1)
735 x 2110	760 x 2130
860 x 2110	885 x 2130

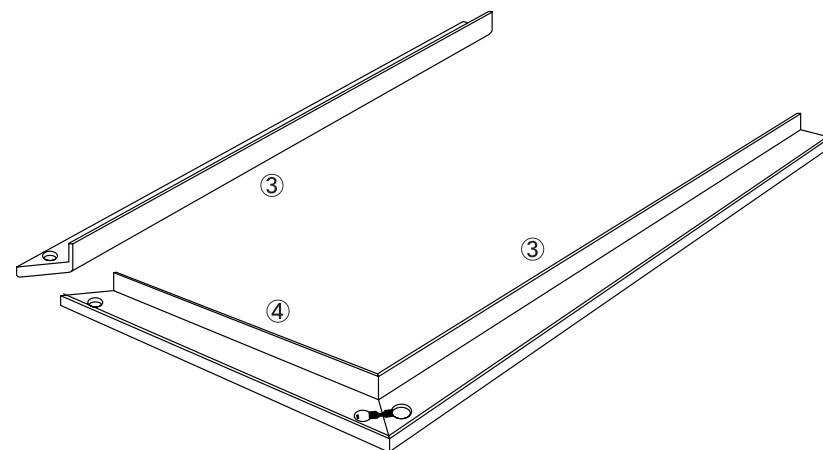
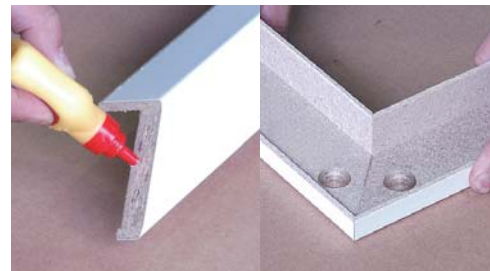
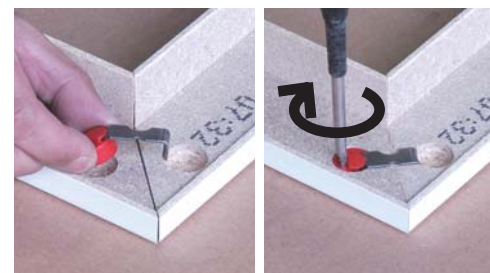
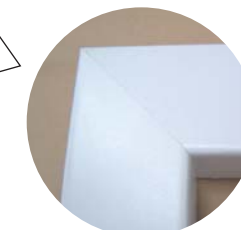
対応壁厚	
対応壁厚サイズ	壁厚
70	69mm 〜 72mm
80	80mm 〜 100mm
100	100mm 〜 120mm
120	120mm 〜 140mm
140	140mm 〜 160mm

手順 3 ドア枠の組立

1 ②の斜め切断面の溝に、楕円形のチップ⑭を入れ接着剤を塗布して、①との接合面を合わせます。

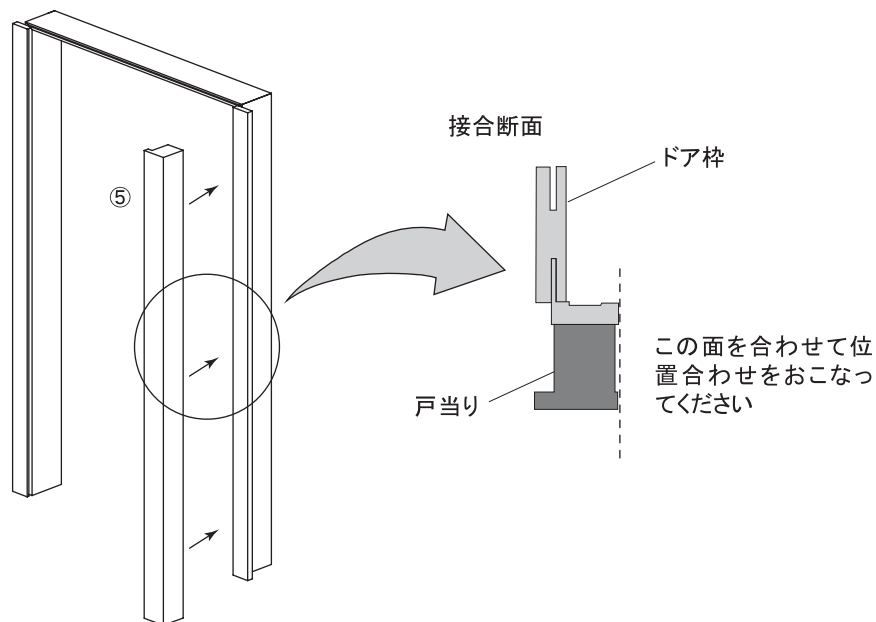
チップ⑭は手で割って使用できます。
壁厚に合わせてご使用ください。

2 方立接続金具⑫を使って接続します。

ズレに注意

必要に応じてビス止めして頂くと、より頑強になります。

手順 4 見切(ケーシング)の組立

1 見切(ケーシング)(小)④の斜め切断面に接着剤を塗布し、③との接合面を合わせます。

2 見切接続金具⑬をはめ込み、ドライバー(−)で樹脂部分を時計方向に回転させて固定します。

正面合わせのズレに注意

組立て後は、接着剤が硬化するまで保管してください。
硬化していないとズレることがあります。
硬化時間については、ご使用の接着剤の説明書をよくお読みください。

保管の際には、壁などに立て掛けないでください。

手順 5 戸当りの取付

●手順 3 で組立てた枠に、戸当り⑤を取り付ける方向を確認してください。（説明は向かって右側に戸当りがある例です）

1 戸当り⑤の接合部に接着剤を塗布し接合します。

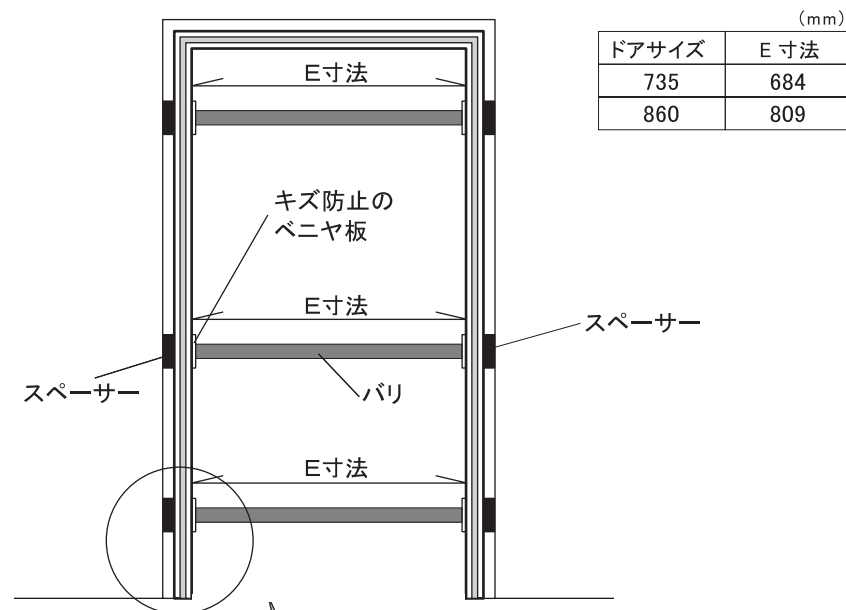
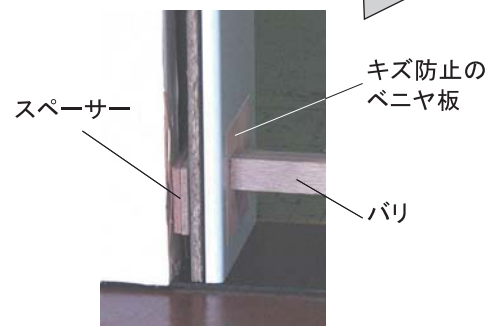
2 より頑丈にするため、ビス止めを推奨します。

・組立て後は、接着剤が硬化するまで保管してください。硬化していないとズレることがあります。
・保管の際は、壁などに立て掛けないでください。
・硬化時間については、ご使用の接着剤の説明書をよくお読みください。

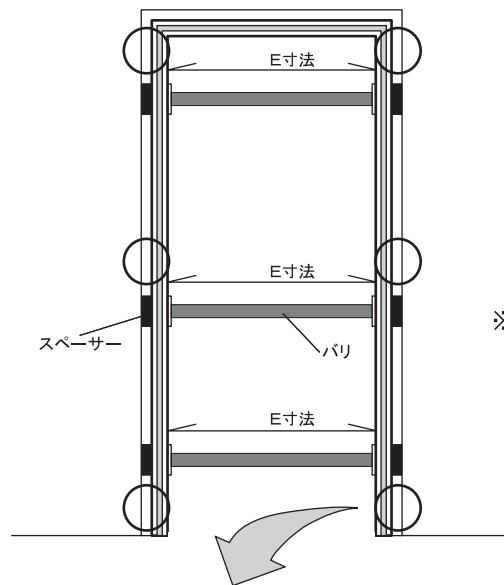
手順 6 ドア枠の取付

●ドア枠内側サイズ（E 寸法）に合ったバリを 3 本と、10cmx10cm 程度のベニヤ等のスペーサー（パッキン材）をご用意ください。

（mm）

ドアサイズ	E 寸法
735	684
860	809

手順 7

発泡接着剤の注入

◆ 発泡接着剤に添付された注意書・説明書をよく読み、取扱いや保管には十分ご注意ください。

左記指示箇所辺りに発泡接着剤 を注入してください。

※発泡接着剤は、最初に少し試し出ししてください。

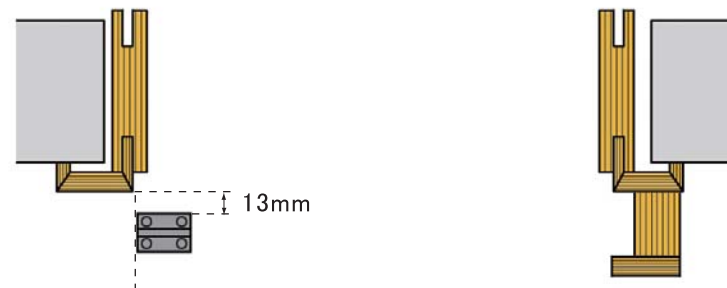
発泡接着剤は、左右それぞれ 3 箇所を 20cm ほどの長さで注入するのが目安です。（決して全体には入れないでください。）

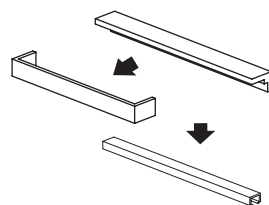
●はみ出た発泡接着剤は、硬化後にカッター等で製品に傷つけないよう、注意して切除してください。

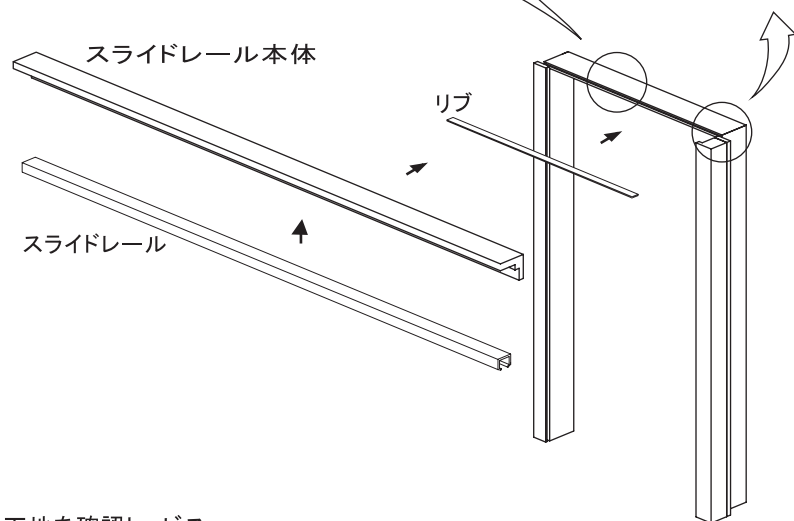
> ! **発泡接着剤が固まるまでの時間は、1 時間半が目安です。**
>
> （ただし、温度や湿度によって変わります。なお、発泡接着剤の使い方については、発泡接着剤の取扱説明書をご覧ください。）
>
> 発泡接着剤は二液式のため、短時間で硬化を開始し、ノズルが詰まって使えなくなることがあります。ドア施工が複数枚の場合は、 あらかじめすべてのドア（ヒンジ）調整が完了した後に注入してください。

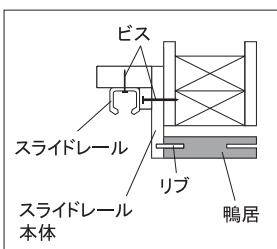
手順 8

スライドガイドの取付

◆ 見切り内端の延長線で、見切り面から 13mm の位置に、付属のビスで固定してください。

手順 9 スライドレールの取り付け

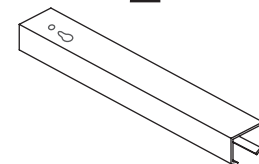
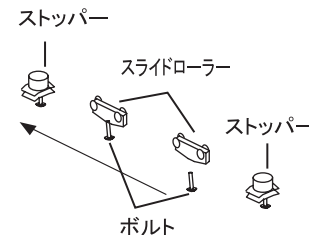
●スライドレール本体⑥を壁（下地）に取り付けるため、一旦スライドレール本体からカバーを外し、ビス止めしてあるスライドレールを取り外してください。

1 付属のリブを挿入します。

2 レールボックスを接合します。

3 壁面の下地を確認し、ビス止め（4 ～ 5 箇所）してください。

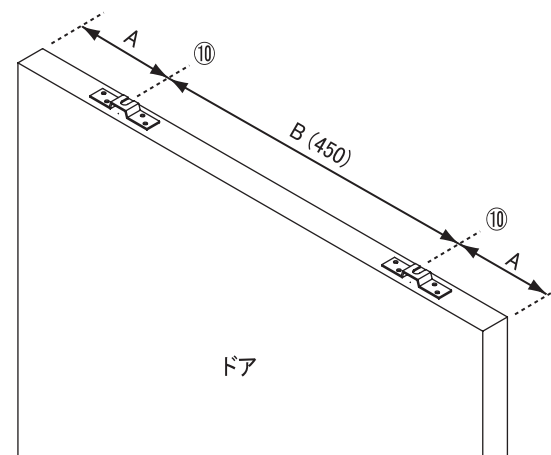
（ビスはお客様にてご用意願います）

4 取り外したレールを、元の位置に取り付けます。

手順 10 ドアストッパー、引戸ローラーの挿入

1 スライドローラー⑧にボルトをねじ込み、スライドレールに挿入します。
（ボルトの先端が、ローラー上部から出ない程度にねじ込んでください）

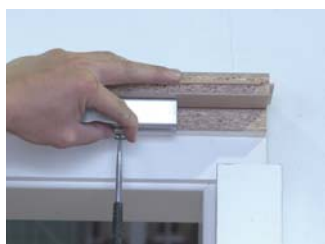
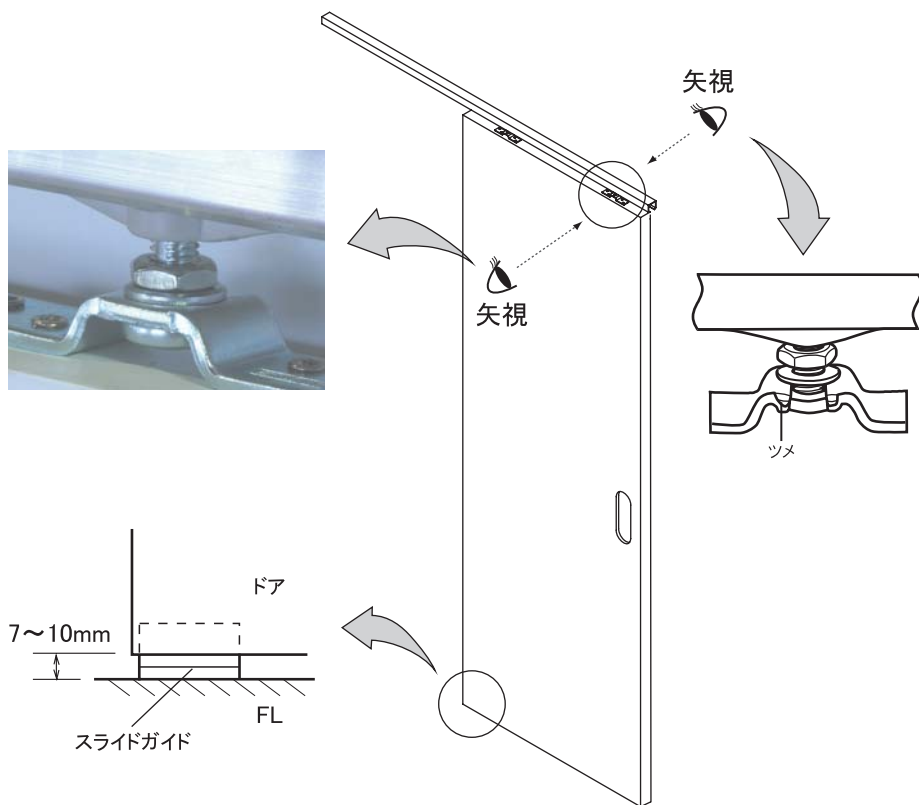
2 ストッパーを組み立て、スライドレールの端の方に仮止めします。

手順 11 ドアブラケットの取付

●ドア上面にブラケット⑩の向きを揃えてビスで取り付けてください。
（ビスはお客様にてご用意ください）

＜取付位置＞ (mm)

ドアサイズ	A	B
735	142.5	450
860	205	450

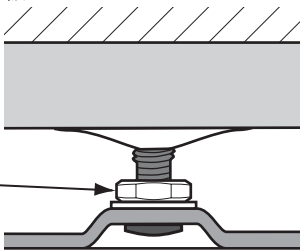
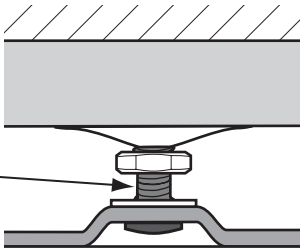
右側に戸当りがくる場合は、引手が右にくる方向でブラケットの切欠が向こう側に向くようにしてください。（左に戸当りがくる場合は、すべてが逆になります）

手順 12 ドアの取付、ストッパー調整

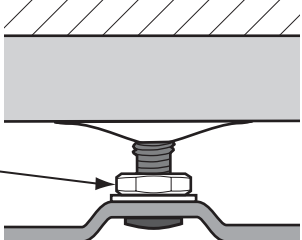
● ドア底面の溝にスライドガイドを入れながら、スライドローラーのボルトにドアブラケット⑩の U 字部を入れます。
（ドア木口の化粧シートをガイドで破らないように注意してください）

戸当り側のストッパーを固定します。

ドア裏側の引き残しを確認しながら、開き側のストッパーを固定します。

手順 13 レールカバー、見切の取付

1 レールカバーをスライドレール本体側面の溝に沿ってはめ込みます。レールカバーの脱落が心配な場合は、後に取り外して調整できる様、隠し釘や接着剤などで軽く固定してください。

2 枠の反対側の溝に、**4** で組立てた見切（ケーシング）を差し込み、施工の終了です。

手順 14

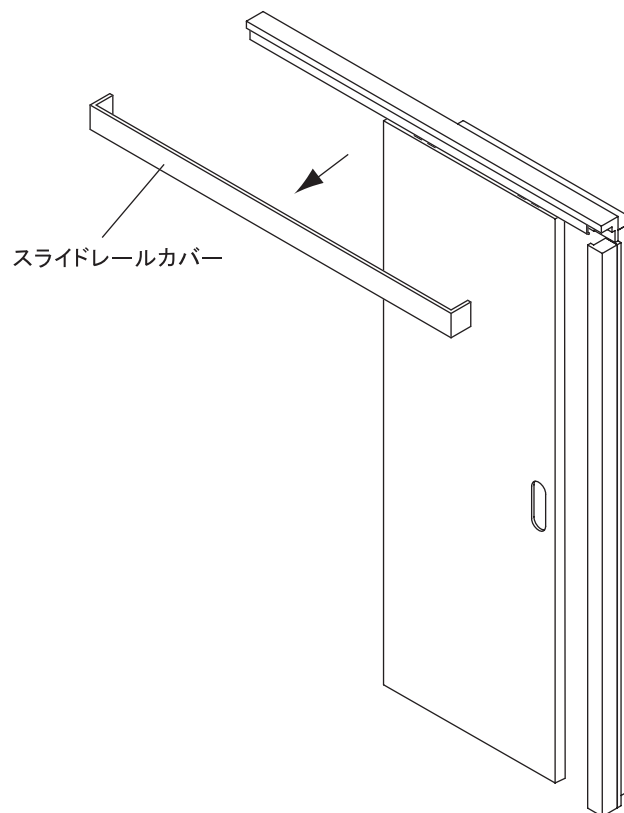
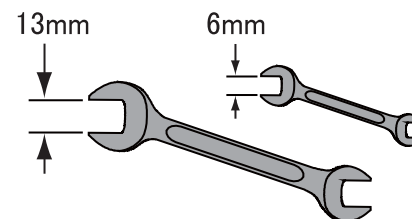
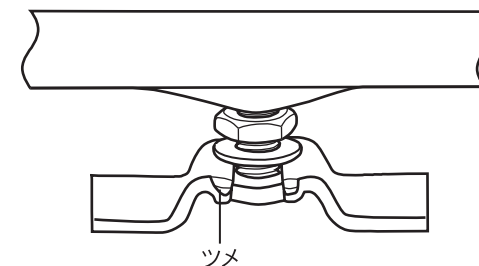
ドアの調整方法

■ ドアの上下・傾きを調整、ガイドの位置調整、ドアを取り外す場合、スライドレールのカバーを取り外してください。

●ドアの調整

1 面幅13㎜のスパナでナットを緩める

2 面幅６㎜のスパナでボルトの切り欠き部を回し、ドアの傾き・上下を調整します

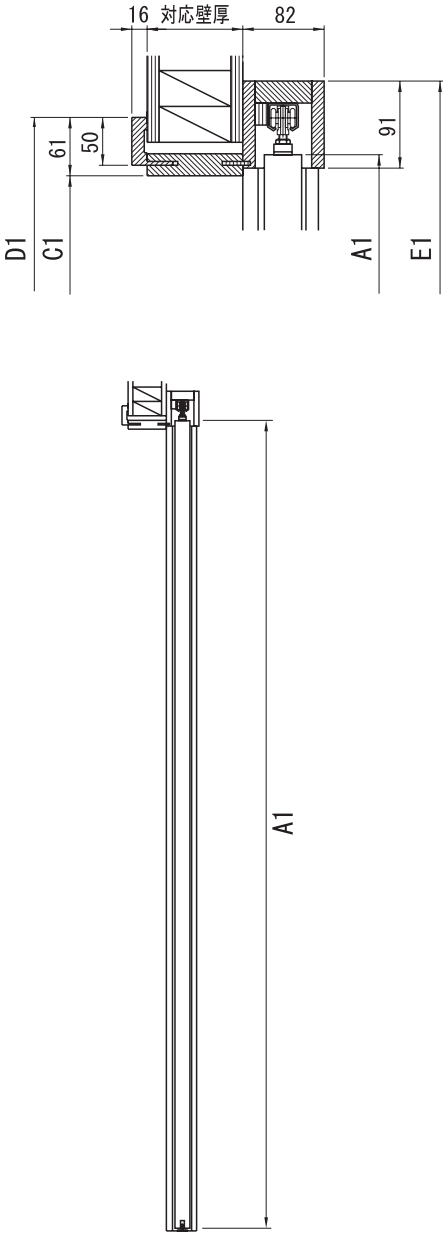
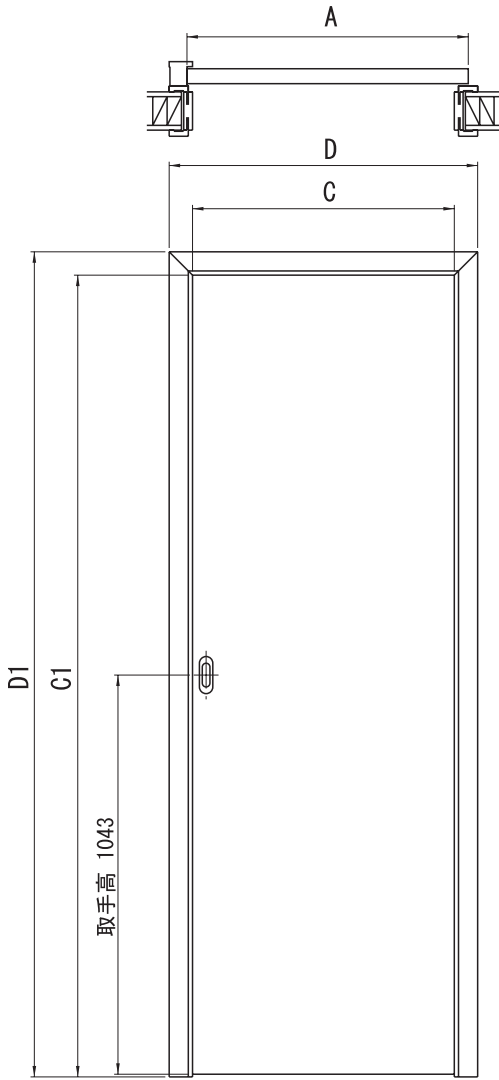
面幅６㎜
のスパナ

3 再び面幅13㎜のスパナでナットを締める

使用するスパナ（薄型の面幅６㎜、13㎜）は、お客様にて手配願います。

● ドアの取り外し

ドア吊り金具は、外れ防止の為ツメが施されています。
ドアを取り外す場合は、ナットを上限まで緩めてからドアを上げながら手前に引くと、比較的用意に外せます。

スライドガイドの調節

Sliding Door (スライディングドア アウトセットタイプ) 収まり図

ドア枠対応壁厚一覧

対応壁厚タイプ	対応可能壁厚
070	69～ 72mm
080	80～100mm
100	100～120mm
120	120～140mm
140	140～160mm

納まり寸法

品　番	ドア (AxA1)	扉枠開口寸法 (CxC1)	扉枠外寸法 (DxD1)	レールカバー寸法 (ExE1)	重量
SEV2N735-△WL	735 x 2110	684 x 2095	806 x 2156	1557 x 2194	28kg
SEV2N860-△WL	860 x 2110	809 x 2095	931 x 2156	1803 x 2194	32kg